

# 筑波大学新聞

第350号

編集責任  
筑波大学新聞  
編集委員会

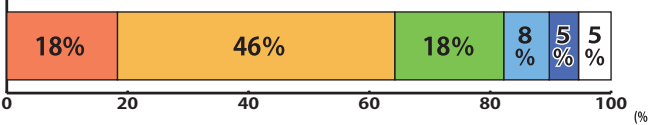
TEL・FAX 029(853)6699  
E-mail  
shinbun@  
un.tsukuba.ac.jp  
月刊

発行所  
筑波大学  
茨城県つくば市  
天王台1-1-1

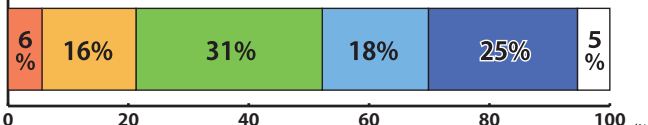
## 学びの面白さ知れた6割

### 本紙調査 1年生必修「学問への誘い」

「学問への誘い」を受講して、  
学びの面白さや多様性を知ることができたと思うか



「学問への誘い」を受講して、  
履修計画を主体的に組めるようになったと思うか



（回答者数は743人。四捨五入につき合計は必ずしも100にならない）

筑波大学の全学群1年生（2171人）を対象に、各学群で学べることを網羅的に紹介する総合科目「学問への誘い」が今年度から新設された。本紙は受講生が科目をどう評価したかを知るため、アンケートを実施し、743人から回答を得た。6割以上が「学問への誘い」を受講して学びの面白さや多様性を「知ることができた」「どちらかといえば知ることができた」と答えた。一方、受講して履修計画を主体的に組めるようになったかとの設問に対し、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」この回答は約2割にとどまった。教養教育機構は「授業評価アンケートなどを基に、来年度に向けて改善を図っていく」としている。（西村大祐II人文学類2年、北川瑠菜II比較文化学類1年、後藤佳佳II社会学類2年、大和祐菜II障害科学類1年）

筑波大は原則、学群を超えて科目を履修できることを特色としている。「学問への誘い」は、筑波大のウェブサイトで、筑波キャンパスのみ、入学式を例年より前倒しし、春学期の授業開始日よりも早く、大会期間中に授業や試験を行わないこと▽4月～6月の一部の土曜日（合計7回程度）に授業を行うこと……などの方針に従い、2020年度の授業などの日程を作成している。

「受講して良かったと思うか」との問いに、「良かった」「どちらかといえば良かった」と答えたのは607人（51%）が回答。「どちらかといえば良くなかった」「良くなかった」と答えたのは161人（22%）。良かった理由としては「自分の（志望）分野と他の分野とのつながりを知り、多角的に将来を考えられた」「一気に幅広い知識が得られた……」などがあつた。

「履修計画を主体的に組めるようになった」とかについては、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」とする人も（42%）が答えた。「そう思う」「どちらかといえばそう思う」などの意見があつた。

教育企画室長の坪内孝司教授（シス情報）は「学問への誘い」が筑波大学の学際性を生かし、学生が主体的に学ぶきっかけとなつてほしい。将来的には、総合大学である筑波大の看板授業にしたい」と話す。

西武筑波店やイオンつくば駅前店の撤退で空きビルとなっているつくば駅前の「CREO」(クレオ)は市吾妻について、今年3月にクレオを取得した日本エスコン(本社・東京都千代田区)が、旧西武側の建物を改修し、来年度中までに商業施設と企業オフィスへ再生することが分かった。旧イオン側の建物は解体し、2022年度までにマンションを建設する。同社は隣接する商業施設「Q1」(キュー1)と「MOG」(モグ)も購入しており、「3施設全体で再開発を進めていく」としている。（西村大祐、木村誠）

同社はクレオを所有していた筑波都市整備(本社・同市竹園)からの打診を受け、17年末からクレオ取得を検討。昨年末のキュー1とモグの取得を経て、3月にクレオを取得した。日本エスコンによると、クレオの旧西武側の建物は低層階を専門店などが入居する商業施設に、高層階をオフィスとして再生させる予定。低層階には百貨店の入居も検討している。現時点では公共施設は入居しない見込み。設備改修などを経て、来年度中の開業を見込む。並行してキュー1やモグでも店舗の入れ替えや移転などを実施する。

旧イオン側の建物は6月15日から解体作業が始まった。ITなどの先進技術を取り入れた高層マンションを跡地に建設する。部屋数や設備などは現在検討中で、今年夏以降に公表する。完成後のマンションとクレオの間には、新たにペデストリアンデッキを開通させ、クレオとつくば三井

おうち開設され、履修計画を主体的に組めることも見込む。春Aモジュールの水曜5・6限に実施され、学生は各学群で何が学べるのかを知る。

は158人(21%)だった。自由記述には「履修計画を意識して受講しなかった」「必修科目と重なっていたり、抽選で落ちたりして希望通りに組めない……」などの意見があつた。

また、各回の講義の「満足度」を聞いたところ、学群ごとに差が見られた。「満足」「やや満足」との回答は医学群の605人(81%)が最も多く、▽芸術専門学群442人(59%)▽人文・文化学群435人(59%)▽体育専門学群412人(55%)……などと続き、理工学群が260人(35%)で最少だった。

医学群については「クイズ形式が面白かった」「初心者に分かりやすい……」などの意見があつた。理工学群に対しては「専門用語が多すぎて理解できない……」などの意見があつた。

日1年生が出席する専門導入科目の授業で配布。743人から回答を得た。設問は15問。学群別の内訳は、人文・文化133人、社会・国際44人、人間86人、生命環境141人、理工137人、情報94人、医学29人、体育専門50人、芸術専門17人、無回答12人。

「友達に夢が添削された」――。昨年12月、高校受験を控えた弟から怒りの電話がかかってきた。スポーツインストラクターになりたいという友人の志望理由書を、聞こえをよくするため「将来は教師になりたい」と進路指導の教師が書き換えた。しかも友人はそれをすぐに受け入れたという▼「人の夢がそんなにに扱われていいはずがない」という弟の意見はもっともだ。同時に、なぜ友人は教師による添削をあっさり受け入れたのだろうか、当時の私は疑問に感じた▼大学3年になり、夏インターンシップの募集が始まった。周りが就活ムードになりつつある今なら、友人の気持ちが少し

分かる。先日登録した就活サイトには「上手に自己アピールする方法」であふれ、それに促されるままに書いたエントリーシートでの私は必死に「御社が求める人材」のふりをしていた▼2016年、大手就活サイト「キャリアタス就活」の調査によると、7割以上の学生は就活で「嘘をついたことがある」と回答した。どうやら「ふりをする」のは私だけじゃないようだ▼ありのままの自分で勝負できるだけの自信はない。だが、多くの学生がしていることはいえ、本音を隠して脚色した自分を語ることで得た内定や合格に、果たして価値はあるのか。自分の将来を見てしまうような気がして、いまだに友人のその後を聞けない。

## 五輪期間中授業せず

### ボランティアに単位検討

筑波大学は2020年の東京五輪・パラリンピックの大会期間中、原則授業や試験を行わない方針だ。本来は休日である土曜日に授業を行い、春学期の日程を前倒しする予定。学生が選手やボランティアなどとして参加することや、教員が指導者などとして五輪に関わることに配慮した。五輪ボランティアに参加した学生には単位を認めることも検討している。

筑波大のウェブサイトで、筑波キャンパスのみ、入学式を例年より前倒しし、春学期の授業開始日よりも早く、大会期間中に授業や試験を行わないこと▽4月～6月の一部の土曜日（合計7回程度）に授業を行うこと……などの方針に従い、2020年度の授業などの日程を作成している。

土曜授業では支援室などで授業実施に必要な業務は行うが、食堂や売店などは

全て営業するかは未定だという。スポーツ庁と文部科学省は16年4月と昨年7月、学生のボランティア活動への参加を促すなどの背景から、全国の大学と高専に対して、大会期間中の授業日程の変更など柔軟な対応を求めた通知を出し、筑波大も検討を始めていた。清水副学長(教育担当)は「筑波大(教育担当)は、学内で行われ

るスイス選手団の事前キャンプのボランティアも対象とする予定。来年4月ごろに詳細を公表する。

清水副学長は「ボランティアへの参加はあくまで個人の自由。五輪を通じて国際交流や共生社会を体験し、これからの社会を考えたい」と話している。

他大学では明治大学や法政大学などが大会期間中に授業や試験を行わないことを発表している。

同社はクレオを所有していた筑波都市整備(本社・同市竹園)からの打診を受け、17年末からクレオ取得を検討。昨年末のキュー1とモグの取得を経て、3月にクレオを取得した。日本エスコンによると、クレオの旧西武側の建物は低層階を専門店などが入居する商業施設に、高層階をオフィスとして再生させる予定。低層階には百貨店の入居も検討している。現時点では公共施設は入居しない見込み。設備改修などを経て、来年度中の開業を見込む。並行してキュー1やモグでも店舗の入れ替えや移転などを実施する。

旧イオン側の建物は6月15日から解体作業が始まった。ITなどの先進技術を取り入れた高層マンションを跡地に建設する。部屋数や設備などは現在検討中で、今年夏以降に公表する。完成後のマンションとクレオの間には、新たにペデストリアンデッキを開通させ、クレオとつくば三井



昨年から空きビルとなっているクレオ(6月13日、つくば市吾妻で)＝西村大祐撮影

## 商業施設とマンションに

### 駅前クレオ 民間企業が再開発

同社はクレオを所有していた筑波都市整備(本社・同市竹園)からの打診を受け、17年末からクレオ取得を検討。昨年末のキュー1とモグの取得を経て、3月にクレオを取得した。日本エスコンによると、クレオの旧西武側の建物は低層階を専門店などが入居する商業施設に、高層階をオフィスとして再生させる予定。低層階には百貨店の入居も検討している。現時点では公共施設は入居しない見込み。設備改修などを経て、来年度中の開業を見込む。並行してキュー1やモグでも店舗の入れ替えや移転などを実施する。

旧イオン側の建物は6月15日から解体作業が始まった。ITなどの先進技術を取り入れた高層マンションを跡地に建設する。部屋数や設備などは現在検討中で、今年夏以降に公表する。完成後のマンションとクレオの間には、新たにペデストリアンデッキを開通させ、クレオとつくば三井

同社はクレオを所有していた筑波都市整備(本社・同市竹園)からの打診を受け、17年末からクレオ取得を検討。昨年末のキュー1とモグの取得を経て、3月にクレオを取得した。日本エスコンによると、クレオの旧西武側の建物は低層階を専門店などが入居する商業施設に、高層階をオフィスとして再生させる予定。低層階には百貨店の入居も検討している。現時点では公共施設は入居しない見込み。設備改修などを経て、来年度中の開業を見込む。並行してキュー1やモグでも店舗の入れ替えや移転などを実施する。

旧イオン側の建物は6月15日から解体作業が始まった。ITなどの先進技術を取り入れた高層マンションを跡地に建設する。部屋数や設備などは現在検討中で、今年夏以降に公表する。完成後のマンションとクレオの間には、新たにペデストリアンデッキを開通させ、クレオとつくば三井

**注目記事**

- 入試 英語民間試験を導入
- 閉鎖中の宿舎で作品展示会
- オリエン・増澤 王者の貫禄
- つくばエクスプレス8両化
- 新企画「教員数減少を考える」

11 10 8 5 2

**特集**

大麻検挙者数過去最多

大学生と薬物乱用 6・7

**ミニ特集**

100件以上の文化財

つくば市の文化財 3

**筑波お話し**

「友達の夢が添削された」――。昨年12月、高校受験を控えた弟から怒りの電話がかかってきた。スポーツインストラクターになりたいという友人の志望理由書を、聞こえをよくするため「将来は教師になりたい」と進路指導の教師が書き換えた。しかも友人はそれをすぐに受け入れたという▼「人の夢がそんなにに扱われていいはずがない」という弟の意見はもっともだ。同時に、なぜ友人は教師による添削をあっさり受け入れたのだろうか、当時の私は疑問に感じた▼大学3年になり、夏インターンシップの募集が始まった。周りが就活ムードになりつつある今なら、友人の気持ちが少し

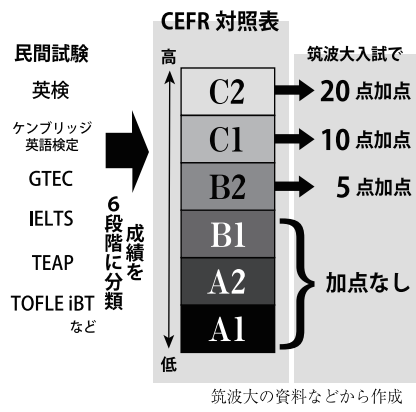


# 入試 英語民間試験を導入

## 21年度から 高校からは懸念も

筑波大学は2021年度から一般選抜入試Ⅱで、英語の4技能を評価する民間資格検定試験の成績を利用すると発表した。受験生の「入学生共通テスト」の得点に加点する。国立大学協会(東京都千代田区)の指針を踏まえた措置で、国立大82校中79校が民間試験の利用を決めている。これに対し、筑波大近隣の2高校は、複数の民間試験を同じ尺度で評価できない、点が出やすい民間試験に生徒が集中するなど問題を指摘し、懸念を示した。(加藤優花Ⅱ国際総合学類2年、西村大祐)

筑波大が採用する外国語運用能力を測る国際基準「CEFR」を用いた加点方法



英語の民間試験は複数あるが、いずれも「聞く」「読む」「話す」「書く」の4技能が試される。筑波大は受験生が提出した成績をレベル分けし、20点を上限に共通テストの点数に加点する。ただし、満点の200点を超過して加点はしない。また、成績提出は必須でなく、民間試験を受けていない受験生も一般

選抜入試を受験できる。国立大学協会は昨年3月、受験者に民間試験の利用を課した上で①一定の成績以上を出願資格とする②成績を点数に換算し加点する③出願資格方式と加点方式の併用④いずれかの方式を採用するよう求める指針を発表していた。筑波大は昨年7月、民間試験利用の検討を始めた。同年10月には英語教育が専門の教員らが、②の加点方式を採用すべきの意見書を提出し、今回の発表に至った。民間試験の導入については、茨城県立竹園高校(つくば市竹園)の内田博明・進路指導部長は「内容が異なる民間試験の結果を一つ

の尺度で評価することはできない。民間試験の試験日に学校行事の予定が左右されてしまう」と語る。一方、筑波大が採用した加点方式については「民間試験を受けない受験生への配慮もなされていない」と一定の評価を示した。また、他の近隣の公立高校の担当者は「問題は多岐にわたる現場は混乱している。高得点が出やすい試験に生徒が集まる懸念がある」と話している。他の国立大で、東北大学、北海道大学、京都工芸繊維大学の3校と筑波技術大学の1校は公平性に問題があるなどとして、民間試験の利用を見送っている。一般選抜入試Ⅱ筑波大の21年度以降の入試区分で、前期日程の総合選抜、学類・専門学群選抜と後期日程の総称。

# ユニバス内部から改革を

## 独自の取り組みを進める中京大

筑波大学は今春発足した大学スポーツの全国的な統括組織「大学スポーツ協会(UNIVASユニバス)」への参加を見送った。各学生競技連盟(学連)も正会員となったことで、学連の意思が優先される恐れがある」と判断したからだ。一方、大学主導で体育会の改革を推進する中京大(本部・名古屋市中区)は、ユニバス発足と同時に加盟した。その取り組みを取材した。筑波大の対応については「ユニバスへの問題提起として一定の理解を示した。(飯田健介Ⅱ社会学類3年)

# 大学の未来

大化」をスポーツ政策の中期の展望に掲げている。「正常化」では、各部署の外部指導者と、学生の社会教育などの指導を求める内容で業務委託契約を結ぶ。指導者の質を確保し、ハラスメントや暴力も防ぶ。「最大化」では、企業や大学の管理下に位置づけ、体育会活動を「正課外教育」と定めた。これにより、大学の責任の下、大学スポーツを推進していく体制を整えた。また、「正常化」と「最

新組織の「理念には賛同」

は感覚頼りの側面があった。i-Ballを使い、投手が良い球投ができたと感じた時の球の回転数や投げ方を変えた時の計測データの変化に基づき、より客観的な指導ができる。川村准教授が監督を務める筑波大学硬式野球部では、既にi-Ballの活用が進んでいる。ある投手の変化球の回転数などを計測し、それを基に投げ方を修正したところ、曲がり方向などが向上し、三振を奪うことができた。「決め球」になった。疲れている時と通常時の投球データを把握し、適切に休養を取らせる指導も行う。川村准教授は「投球動作と回転数などの関係は未解明な部分も多く、今後明らかになっていく。小中

# 筑波大からの就任は初 永田学長 国大協会長に



永田恭介学長

筑波大学の永田恭介学長が6月11日、国立大学協会(国大協)・東京都千代田区)の会長に就任した。筑波大学長の会長就任は初めて。前任の山極壽一(京都大学)の任期満了に伴うもので、任期は2021年の6月までの2年間。国立大学協会は、学制改革に伴う戦後の新制国立大学発足を受け、1950年に設立された。各加盟大学の連絡・協力を強化し、学問の自由の擁護や研究教育条件の整備を進める狙いが

# 投手に科学的な指導を

## センサー内蔵のボール活用



＝アクロディア提供

「ストレートに伸びがある」「キレのある球」……。投球の特徴を表す言葉は数多くあるが、感覚的な表現にとどまる。コーチングや野球の動作分析が専門の川村准教授(体育系)は、センサーを内蔵した野球ボールを開発するアクロディア(東京都新宿区)と共同研究を始めた。投球の回転数などのデータを収集し、質の良い投球をするための投球動作や指導方法を科学的に探る。(牧田宗大Ⅱ社会学類3年、写真も)

# 研究 探求



川村准教授

川村准教授によると、一般的な投手の直球は地面に対し20〜30度程度傾いている。だが、i-Ballで収集した投球や投球動作のデータ解析を進める。これまで、投手への指導

8月から耐震工事

筑波大学のCA棟と2A棟の耐震改修工事が8月から始まる。これに伴い2施設は来年5月末まで閉鎖される。施設企画課によると、スペースを有効活用できるように間取りも一部変更するという。

閉鎖期間中、CA棟で行われてきた外国語授業の教室が変更される。変更先の教室は開設授業科目一覧に記載されている。同棟内の学術情報メディアセンター

重川秀実教授

紫綬褒章を受章

内閣府は5月21日、令和初となる春の褒章受章者を発表した。筑波大の重川秀実教授(数物系)が紫綬褒

紫綬褒章を受章した。紫綬褒章は科学技術分野での発明・発見や学術やスポーツ・芸術分野の業績をたたえ、贈られる。筑波大ではこれまで、柳沢正史教授(国際総合睡眠医学研究機構長)や関口章教授(数物系)が受章しており、現時の受章者は4人目。重川教授は、原子1個の領域で起こる現象を1000兆分の1秒の単位で調べられる顕微鏡技術を世界で初めて開発するなど、極微世界で起こる物質のさまざまな現象を解明できる科学技術の発展に貢献。重川教授は「受章は、まったく思いがけない贈り物。成果が認められ、心からうれしい。今後も夢を追い、更なる一歩を踏み出したい」と語った。(田所涼)

## 広告掲載欄

広告のお申込み・お問い合わせは  
 メール [shinbun@un.tsukuba.ac.jp](mailto:shinbun@un.tsukuba.ac.jp)  
 (筑波大学新聞編集部)



# つくば市の文化財

デザイン=北川暲菜(比較文化学類1年)、大和祐菜(障害科学類1年)



現在も茅葺き屋根を維持する大塚家住宅(6月8日、つくば市栗原で) = 池田花於里撮影

## 大塚家住宅

18世紀半ばに建てられた民家で、江戸城を築城した太田道灌(1432〜86)の子孫とされる太塚道資(おつかみちゆき)の長男が、江戸幕府の御用金主として、大塚家として繁栄した。大塚家は小田氏の家臣。同氏が敗れた後は、農家となり代々名主を務めた。8代目もしくは9代目が建てたとされる現在の母屋は、同じ広さの部屋を4つ備えた構造の建築様式「整形四間取り」で建てられている。建築当初の姿が良く残っており、規模も大きいため、1976年に国の重要文化財に指定された。

約5分でバス停から徒歩近づく「つくば」のバス停から徒歩約5分で大塚家住宅の大きな茅葺き屋根が姿を現す。近づくにつれ、手前に大塚家の姿が見える。

## 世代を越えて続く暮らし

1 長屋門 長屋門を左右に備えた門。武家屋敷や貴族の農家などに置かれた。

歴史や家屋の構造などの説明板が置かれ、長屋門をくぐると左手に母屋がある。大塚さん夫妻の許可を得て中に入ると、土間や、かつて農具を収納していたとみられる空間があった。現在はソファが置かれて来客との談話の場になっている。天井に渡る太い梁や柱などは建築当初のままだ。道資さんによると、茅葺き屋根のふき替えは30数年、片側のみで約600万円かかったという。現在は一度にふき替えるのではなく、部分的なふき替えを続けているそうだ。今後もつくば市などと協力し、道資さん夫妻や長男一家が住み続ける予定だ。

## 小田城跡

小田城は、戦国時代まで常陸国(現在の茨城県)の大部分、南部で勢力を誇った小田氏の居城だった。鎌倉時代の築城で、南北朝時代に北畠親房が入城し、南北朝の正当性を主張する『神皇正統記』を著したことで知られている。小田城は時代の変化に合



建物跡の位置が四角く示されている小田城本丸跡(6月12日、小田城跡歴史ひろばで) = 池田花於里撮影

## 戦国時代の城跡を歩く

建設された「板倉」(左)、「土倉」(中)、「校倉」(右) (6月9日、平沢官衙遺跡歴史ひろばで) = 西村大祐撮影

し、周辺勢力と攻防を繰り返した。これら歴史や、堀・土塁などの残存状態の良さから、1985年に国指定の史跡になった。指定範囲は本丸跡を中心南北550m、東西450m。現在本丸跡は小田城跡歴史ひろばとして整備され、無料で入場できる。堀にかかる木橋を渡り本丸跡に入ると、建物の柱穴や礎石など遺構の解説があり、本丸の往時の姿を想像しながら散策できる。「ひろば」の案内所では、小田氏一族約400年の歴史が解説され、出土した陶磁器や銭貨、鉄砲玉などが展示されている。

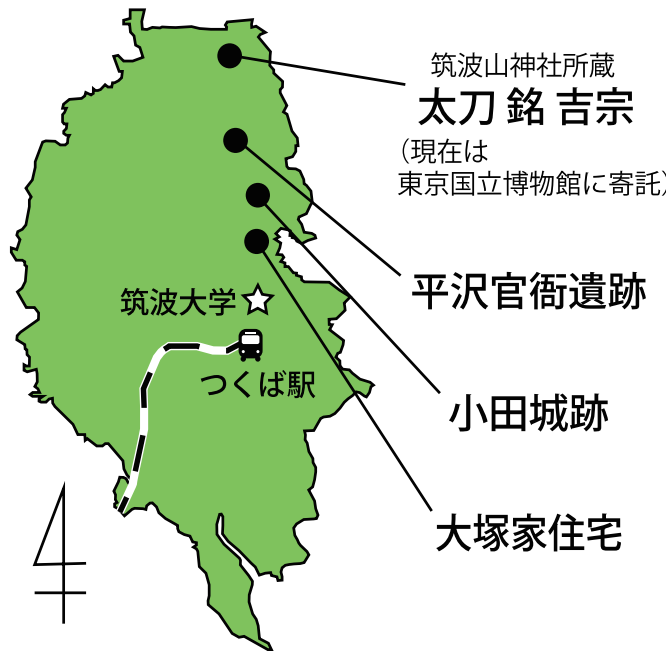
## 識者の声

歴史地理学が専門で、つくば市の文化財活用方針の策定にも携わっていた小口千明名誉教授に、市内の文化財の特徴について聞いた。(聞き手・中村瑞歩)

## 豊富な文化財、世代を超えて保護

つくば市では、昨年からの文化財の活用方針として、循環型の活用を目指している。これは、大学生などが市内の小中学生と共に文化財の保護活動を行い、文化財に興味を持った小中学生がその後、更に下の世代へと文化財を伝えていく取り組みだ。興味がある人はぜひ参加してほしい。

## つくば市の国指定文化財(一部)



筑波山神社所蔵 太刀銘吉宗 (現在は東京国立博物館に寄託)

平沢官衙遺跡

小田城跡

大塚家住宅

つくば市には国や県、市の指定などを受けた文化財が100件以上ある。今号ではこのうち、国指定の重要文化財・史跡4件を訪ね、見どころや指定の経緯を紹介する。また、歴史地理学が専門の小口千明名誉教授に、つくば市内の文化財の特徴を聞いた。(西村大祐) 人文学類、池田花於里(比較文化学類)、中村瑞歩(日本語・日本文化学類)、牧田宗大(社会学類)、竹添そら(知識情報・図書館学類)、大森春歌(芸術専門学群)

## 太刀銘吉宗

文)は福岡一文字派の刀工が得意としたものとされており、曲線を重ねたように起伏が激しい。刀装は、柄から鞘の途中まで糸(平紐)を巻く「糸巻太刀」と呼ばれるものだが、本太刀は柄のみ糸を巻いている点に珍しい。江戸時代には高位の武士が正装時に身につけたほか、寺社に刀剣を奉納する際も



筑波山神社で保管されていた「太刀 銘 吉宗」= 同神社提供

## 貴重な「吉宗」作品

## 平沢官衙遺跡

## 奈良時代の郡衙を復元

平沢官衙遺跡は、奈良時代に現在の茨城県南部にあたる常陸国筑波郡に置かれた郡衙(郡庁)の跡で、非常時に備えて稲を保管する「正倉」の建物跡が多く残る。住宅団地の建設計画に伴って1975〜77年まで調査された。その後、井坂敦美氏(旧筑波町長)らが遺跡を保護する運動を展開し、80年に国の史跡に指定され、2003年には「平沢官衙遺跡歴史ひろば」が開園した。



復元された「板倉」(左)、「土倉」(中)、「校倉」(右) (6月9日、平沢官衙遺跡歴史ひろばで) = 西村大祐撮影

「庁」からなり、主に奈良・平安時代に利用された。案内所

▽開所時間 午前9時〜午後4時30分。休所日・月曜日、祝日の翌日、年末年始。

▽入場料 無料

▽住所 茨城県つくば市平沢3003

▽電話 029-867-5841

▽アクセス つくばセンターから「つくばバス」小田チャトルで「大池・平沢官衙入口」下車

▽住所 つくば市小田2532番地2

▽電話 029-867-4070

▽アクセス つくばセンターから「つくばバス」小田チャトルで「小田東部」または「小田中部」下車後徒歩約10分。

指定の史跡になった。指定範囲は本丸跡を中心南北550m、東西450m。現在本丸跡は小田城跡歴史ひろばとして整備され、無料で入場できる。堀にかかる木橋を渡り本丸跡に入ると、建物の柱穴や礎石など遺構の解説があり、本丸の往時の姿を想像しながら散策できる。「ひろば」の案内所では、小田氏一族約400年の歴史が解説され、出土した陶磁器や銭貨、鉄砲玉などが展示されている。

歴史地理学が専門で、つくば市の文化財活用方針の策定にも携わっていた小口千明名誉教授に、市内の文化財の特徴について聞いた。(聞き手・中村瑞歩)

つくば市では、昨年からの文化財の活用方針として、循環型の活用を目指している。これは、大学生などが市内の小中学生と共に文化財の保護活動を行い、文化財に興味を持った小中学生がその後、更に下の世代へと文化財を伝えていく取り組みだ。興味がある人はぜひ参加してほしい。



# 記者の声



木村誠

【6・7面に「大学生と薬物乱用」特集】精神障害や記憶障害などを引き起こし、強い依存性もある大麻が大学生に広がっている。今年1月には中学生が大麻所持で摘発されるなど、若年層への浸透が深刻化している。

## 若者に広がる大麻乱用 国や大学は対応急げ

薬物乱用

警察庁の発表では、昨年大麻による検挙者数は3578人で過去最多を更新した。30歳未満が1950人と約半数を占めた。大学生の検挙者数も過去最多の100人で、5年間で約4倍に増えた。

食品と同様の包装に包まれて市販され、パッと見ただけでは大麻成分が含まれているとは気がつかないものも多いという。今年3月には、東京都の社交ダンスのイベントに参加していた男女7人が体調不良を訴えて病院に搬送、体内から大麻成分が検出された。報道によれば、税関で摘発例が増えているの

波大生も他人事だと思わず、大麻が合法化されている地域への渡航時はもちろん、日常的にも注意する必要があるだろう。オランダを始め、カナダや米国の一部の州など大麻を容認する国や地域が出てきている。こうした国や地域は筑波大の交換留学先でもある。しかし、

筑波大は6月現在、これらの国や地域へ渡航する学生への特別な注意喚起などはしていない。昨年8月、筑波大の海外武者修行支援プログラムの助成を受けた冊子「セーフティライフ」を学群の新生生全員に配布している。その中で「薬物には絶対手を触れない」と訴え、違法薬物について紹介している。

だが、薬物の種類や危険性、別名などにより、大麻成分入りの食品は取り上げられていない。これは不十分だ。筑波大は、留学の説明会など機会あるごとに、大麻の危険性などについてきちんと周知すべきだ。

大麻や大麻製品については税関などのウェブでも確認できる。筑波大生も、自分の身を守るためにまずは大麻に関する知識を身に付けるべきだろう。薬物の魔の手は、我々の想像よりもずっと身近にある。(筑波大学新聞編集長・人文学類3年)

# 筑波時評

マイクプラスチック、海洋プラスチック、脱プラ……。このところ、プラスチックごみが話題だ。実際、プラごみは深刻な問題だ。日本では年間約1000万トンのプラスチックが生産・廃棄され、うち約4割が家庭から出される。プラごみの一部は中国に輸出され処理されていたが、2018年に中国政府が環境汚染防止のために輸入を停止したを受け、日本やEU諸国では、プラごみ処理

め、改めて世界的に注目されている。このような状況と前後して、

## プラスチック 改めて注目されるごみ問題 大切なものは削減と分別

甲斐田直子 准教授(環境経済学)

い製品は含まれず、可燃ごみに分類されている。この制度で分別収集されたプラごみは、樹脂原料や固形燃料にリサイクルされる。いわゆる、マテリアルリサイクル、ケミカルリサイクルである。

ついでには、プラごみ分別収集実施自治体としてはやや「後発」で、これまで可燃ごみとして焼却処理してきた。もちろん、無駄に燃やしてきたわけではなく、プラごみは、水分を多く含む燃やしやすいごみと、一緒に燃やすことにより、燃料として機能し燃焼効率が上がる。つくば市は他の多くの自治体と同様に、焼却時に生じた熱を回収し

て発電し、焼却施設に必要な電力を賄っているだけでなく、余剰電力を売ることにより収入を得ている。いわゆるごみ発電、サーマルリサイクルである。高性能な焼却炉であれば、ダイオキシンの問題もほとんど発生しない。ごみ発電を積極的に進めている国もある。例えばスウェーデンは、このためにごみを勝るものはない。

い製品は含まれず、可燃ごみに分類されている。この制度で分別収集されたプラごみは、樹脂原料や固形燃料にリサイクルされる。いわゆる、マテリアルリサイクル、ケミカルリサイクルである。

ついでには、プラごみ分別収集実施自治体としてはやや「後発」で、これまで可燃ごみとして焼却処理してきた。もちろん、無駄に燃やしてきたわけではなく、プラごみは、水分を多く含む燃やしやすいごみと、一緒に燃やすことにより、燃料として機能し燃焼効率が上がる。つくば市は他の多くの自治体と同様に、焼却時に生じた熱を回収し

# 反射鏡

## キャッシュレス化どう思う?



イラスト=長手彩夏(地球進化学専攻2年)

利だが、災害時に電子マネーが使えなくなったという話をSNSで見ることがあり、不安が残る。また、現金は自分の所持金を目で確認できるので安心だ。

## 感謝を伝えたい人

5月の第2日曜日は「母の日」、6月の第3日曜日は「父の日」だ。それぞれ母親、父親に感謝を伝える日だが、筑波大学生が今、感謝を伝えたい相手は誰だろうか。第三エリアや体芸エリアで聞いた。(国井俊介II社会学類2年、田所涼、遠子内早紀II教育学類2年、大森春歌II芸術専門学群2年)

- 【人文3年・女性】 学内の丸善(書籍店やコンビニエンスストア)でも利用できるので、キャッシュレディが便利だと思ってる。キャッシュレス化すれば、現金を持ち歩かずに支払いが楽だし、便利だと思う。一日中からスマホで決済、正利用など問題もあるが、セキュリティが今後の課題になるのではないかと。
- 【人文2年・女性】 ネーやスマホを紛失した時が怖い。
- 【物理2年・男性】 キャッシュレス決済は便利だが、学内の店舗で導入が進んでいないこともあって、日常的には使っていない。学内でも使える所が増えるといい。
- 【障害年・女性】 キャッシュレス化には反対だ。入金してある電子マネーが怖い。
- 【生環前期1年・女性】 キャッシュレス決済は便利だが、個人情報流出したり、個人情報が流出したり、システムの不具合で支払えなくなったりするので、なかなか安心できない。財布の中に現金が入っている方が安心できる。
- 【人文1年・男性】 クレジットカードをよく使うが、いくら使ったのかわからなくなってしまうのが心配。支出を管理するスマートフォンアプリを使おうと思ってる。
- 【教育専攻前期2年・女性】 個人情報が流出したり、システムの不具合で支払えなくなったりするので、なかなか安心できない。財布の中に現金が入っている方が安心できる。
- 【人文3年・女性】 高校時代の友人。今は大言や手助けをしてくれる。自分だけでは分からないことや困ることがあるが、先輩の協力で前に進むことができた。
- 【人文3年・女性】 高校時代に2年間クラス担任だった先生。授業を受ける態度を注意してくれたら、受験勉強を頑張っていた。厳しさと優しさを合わせてくれた。
- 【知3年・女性】 高校時代のパソコン部の顧問。当時7万円以上した機材を自分で買って、そのおかげでロボットコンテストの全国大会まで進むことができた。
- 【工2年・男性】 自分が以前に働いていた予備校の校長。私は筑波大を一度退学して再入学したが、再入学までの間の働き方や受験勉強を支えてくれた。
- 【物理2年・男性】 大阪府に住んでいる母方。現在就職活動中だが、ついでに私が申し込みたいところを、優しく歓迎してくれ、励ましてくれた。そのおかげで、会いに行くと喜んでくれた。
- 【文4年・女性】 大阪府に住んでいる母方。現在就職活動中だが、ついでに私が申し込みたいところを、優しく歓迎してくれ、励ましてくれた。そのおかげで、会いに行くと喜んでくれた。
- 【文3年・女性】 一言で元気になった。
- 【芸専1年・女性】 母。落ち込んだ時などに話を聞いてくれた。大学受験の際には誰よりも応援してくれ、合格した時は誰よりも喜んでくれた。大学で勉強して、恩返しをしたい。
- 【物理2年・男性】 大阪府に住んでいる母方。現在就職活動中だが、ついでに私が申し込みたいところを、優しく歓迎してくれ、励ましてくれた。そのおかげで、会いに行くと喜んでくれた。
- 【知1年・女性】 学類の友人。入学式前にあった学類のキャンパスツアーで知り合ってからずっと仲良し。学類には同じ高校出身者がおらず、入学当時は知り合いがいなかった。仲良くしてくれてくれたので、積極的に会いに行くと喜んでくれた。
- 【社1年・男性】 家族。特に2人の姉は、大学進学のために学費まで出してくれたので、感謝して感謝しきれない。
- 【文3年・女性】 友人。アルバイトやサークルに追われ、恋愛もうまくいかず夜に一人で悩んでいる時、友人が居酒屋に誘って励ましてくれた。友人の大切さを知った。
- 【文3年・男性】 高校時代の友人。今は大言や手助けをしてくれる。自分だけでは分からないことや困ることがあるが、先輩の協力で前に進むことができた。
- 【文3年・女性】 高校時代に2年間クラス担任だった先生。授業を受ける態度を注意してくれたら、受験勉強を頑張っていた。厳しさと優しさを合わせてくれた。
- 【知1年・女性】 高校時代のパソコン部の顧問。当時7万円以上した機材を自分で買って、そのおかげでロボットコンテストの全国大会まで進むことができた。
- 【工2年・男性】 自分が以前に働いていた予備校の校長。私は筑波大を一度退学して再入学したが、再入学までの間の働き方や受験勉強を支えてくれた。



# 筑波大学吹奏楽団定期演奏会 「紅白」対決で会場沸かす



リハーサルで指揮をふる紅組学生指揮者と楽団員ら(6月15日、ノバホールで)

## 観客らが勝敗決める

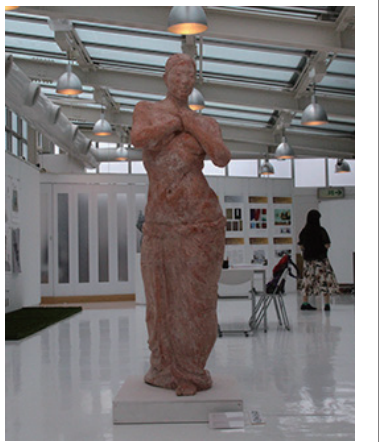
筑波大学吹奏楽団の第81回定期演奏会が6月15日にノバホール(つくば市吾妻)で開かれ、約600人が迫力ある演奏を楽しんだ。今回の演奏会のテーマは「紅白歌合戦」を模した「紅白吹奏楽戦」。学生指揮者4人が紅組と白組に分かれ、演奏の最後に行われたのは「吹奏楽の名曲対決」。先攻の白組はAリード作曲の「春の狩犬」。華やかな曲調で始まり、中間部ではホルンと木管による

262票、白組187票で紅組が勝利した。団長の黒田容保さん(工シ3年)は「学生指揮者の2人が対決企画を提案したことから『紅白吹奏楽戦』というテーマに決まった。観客が聴いて楽しめる曲が多く、自分も楽しみながら演奏することができた」と語った。(遠子内早紀)教育学類2年、写真(も)

## CONNECT展V

### 大学賞受賞作品を展示

平成30年度の筑波大学芸術専門学群と人間総合科学研究科博士前期課程芸術専攻の卒業・修了研究から優秀作品と優秀論文を紹介する「CONNECT展V」が、5月11日から6月6日まで「スタジオS」(つくば市二の宮)で開かれた。同展は今年で5回目。「CONNECT」関(かかわ



女性像「祈りについて」(6月2日、スタジオSで) =伊藤新平撮影

女性像「祈りについて」(6月2日、スタジオSで) =伊藤新平撮影

6月2日には、会場で筑波大学芸術賞などを授与された作者らによるアーティストトークが行われた。同賞を受賞した中田ちひろさん(平成30年度芸術専攻前期修了)は、粘土を素焼きする「テラコッタ」の技法を使い、2人以上ある女性像「祈りについて」を制作した。

## 閉鎖された宿舎に傑作集う

### 平砂アートムーヴメント

閉鎖された平砂学生宿舎9号棟で作品制作し、展示する「平砂アートムーヴメント」が5月20日から6月2日まで開かれた。筑波大学生55人が作家として参加し、五角形が特徴の宿舎の部屋やトイレ、物置などを活用して個性豊かな展示空間を創出した。

高橋呼春さん(芸術専3年)は、壁面や天井を黒色のマスキングテープで区切り、そのマスの中を黒色の丸や四角などの図形で埋め尽くした「Pattern」を制作した。同じ生活が繰り返される宿舎という空間と模様の繰り返しを重ねたという、ベッドや机などの家具もそのまま利用した。高橋さんは「平砂宿舎に漂う閉塞感のようなものを、一見すると奇麗だが、どこか空虚で不安感をおおったか空気が表現したかった。壁に直接絵を描くことなどないで、とても貴重な経験になった」と話した。



黒色のマスキングテープなどで装飾された宿舎の一室(5月31日、平砂学生宿舎9号棟で) =後藤佳伶撮影

テーマにした「神はサイコロを振らない」を一階の物置に展示。暗い室内に、霧に見立てた煙がたかれ、神秘的な雰囲気を醸し出す。その中でさまざまな色のデジタル数字を明滅させた。デジタル数字は、LEDを内部に張り付けた木製の箱を組み合わせて表現されており、箱のふたは光が拡散するようアクリル板にした。色の変化はコンピュータで制御されている。頃安さんは「二つ二つ独立した(部屋という)空間

## やどかりダンス

### 5団体がダンス披露

【10面参照】第45回宿舎祭の企画「やどかりダンス」が6月1日、メインステージで開催された。5団体が出演し、それぞれ個性的なダンスを披露した。

## おじわら

「絶対音感」は休みます。



## 井川義次 教授 (中国哲学)

人文社会系・教授。筑波大学大学院博士課程哲学思想研究科修了。博士(文学)。琉球大学文学部人間科学科助教授などを経て、2004年より現職。

## 私の一本

私と同じくこの映画に衝き動かされたものがいた。第87代内閣総理大臣小泉純一郎である。かつて厚生大臣であった彼は厚生官僚の強い反対があったのを押し切りハンセン氏病患者隔離と人権侵害に対する国の賠償の責任を認めた。小泉がこの決断を下したのは若き時代に『砂の器』を見たことがきっかけとなっていたからだという。中一時代に初めて見た本格的な日本映画であったことが私にとっても感慨深いものがあつた。それ以来テレビ、DVD合わせられ今西はこれが地名ではない。

## 『砂の器』

既に50回以上は見ているだろう。本作品は日本で熱烈な支持者がいるだけではない。この連年シネマコンサートが満員となっている、モスクワ映画賞を受賞し、また中国の映画監督等にも影響を与えている(観客動員数は中国が日本を超えているかもしれない)。旧国鉄鎌田操車場構内で起こった60代老人の殺人事件が物語の発端となる。被害者が加害者と思しき青年に東北弁で「カメダ」という言葉を語っていたという。この「カメダ」をめぐる各地に該当者の照会が行われるが、対象の人物は見つからない。そこで担当警部今西はこれが地名ではない。

## 野村芳太郎 監督

いかと推測し、東北の羽後亀田を当てる。その後、岡山県から被害者の家族が訪れ遺体を三木謙一と確認するも、被害者と「東北弁」との関係がつかめない。三木は若くして島根県で巡査となり永年模範的警察官として慕われていたことだけは確認されたのだが……。

やかにねじれるようなシルエットで表現した。大井さんは「幼い頃から慣れ親しんだ音楽と、故郷の自然から着想を得た」といい、土に色のついた粉を混ぜるなどして美しい青系の色合いに仕上げた。



『君の名前で僕を呼んで』2017年公開。監督はルカ・グアダニーノ。



杏食ふ顎を象る汁の冷え 藻の花や睫毛の先に光の終はり 汗の首絶るごとくに抱いてをり

北イタリアを舞台にした17歳と24歳の青年の夏の恋の物語。こう書く普通の恋物語と思うだろう。実際、登場人物もストーリーもなんでもことはない。しかし、どうだろう。この作品においては、日差しに、木々に、プール、煙草、杏の実、主人公の目といった普通のもが眩しさを放っている。その眩しさは忘れられない鮮烈さでありながら、一瞬で消えてしまう。だから、この恋は、この夏は切ない。

(吉川)劇陣比較文化学類3年



# 大学生と薬物乱用

## 特集

若者や芸能人などが大麻や覚せい剤などの薬物を乱用する事件が相次いで発覚している。本紙は、薬物乱用の現状や乱用防止の取り組み、乱用のきっかけなどを探るため、文部科学省や税関、薬物依存者支援施設「ダルク」などに取材した。

(木村誠二 人文学類 後藤佳佳、牧田宗大、森賀達太 社会学類 4面に記者の声)

### 大麻の検挙者は過去最多

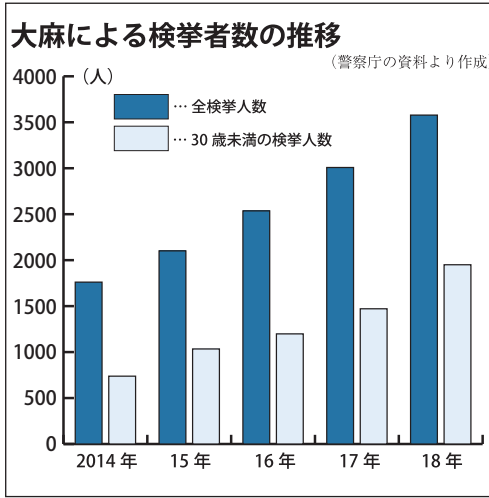
#### 薬物乱用の現状

警察庁によると、昨年の薬物事犯の検挙者数は前年比320人増の1万3862人。覚せい剤と大麻が大半を占めた。比率では覚せい剤が7割超となっており、近年は減少傾向にある一方、大麻の比率は9868人で、1万人の率で過去最多の3578人。危険ドラッグの検挙者数は15年の966人から368人だった。30歳未満の検挙者数も325人から57人と大幅に減少した。

14年に法規制が強化された効果が出たが、その分、利用者が大麻に流れているとの見方もある。

財務省の資料によると、密輸など違法薬物に関する昨年の関税法違反検挙件数は、前年比13%増の886件。大麻の摘発件数が過去最多の230件となったことが全体を押し上げた。

また、大麻摘発の約4割は大麻成分が入ったクッキーや菓子類などであることが明らかになった。



大台を割り込んだ。15年からは過去最多の3578人。危険ドラッグの検挙者数も15年の966人から368人だった。30歳未満の検挙者数も325人から57人と大幅に減少した。

14年に法規制が強化された効果が出たが、その分、利用者が大麻に流れているとの見方もある。

財務省の資料によると、密輸など違法薬物に関する昨年の関税法違反検挙件数は、前年比13%増の886件。大麻の摘発件数が過去最多の230件となったことが全体を押し上げた。

また、大麻摘発の約4割は大麻成分が入ったクッキーや菓子類などであることが明らかになった。

### 大麻入り食品 見分けつかず

東京税関の担当者によれば、数年前は手作りで砕いた大麻を生地に練りこんだと思われる大麻タッキーが摘発されていた。しかし、最近は、市販の包装に包まれ、通常の菓子とほぼ見分けがつかない大麻成分入りの菓子も摘発されるようになったという。

横浜税関の担当者は「大麻が合法的な国もあり、大麻成分入りと知らずに海外で買う可能性は十分ある。注意が必要」と話す。



大麻成分入りのグミ = 横浜税関提供

政府は1998年5月に策定した「薬物乱用防止五年戦略」を皮切りに、これまで度々わたって同戦略を策定、対策に当たっている。そのうち、大学や高校など教育現場での取り組みや今後の対応を、文部科学省の小出彰宏・健康教育調査官(薬学博士)に取材した。一問一答は以下の通り。

#### 政府の取り組み

田宗大

文部科学省が行っている薬物乱用防止への取り組みは、

薬物の危険性や薬物使用の要因などを正しく認識してもらうため、小・中学校と高校の授業で薬物乱用防止を教えることを学習指導要領に盛り込んだ上で、大学の教育活動全体を通じて指導が行われるよう周知している。また、全ての大学

に新入生向けとして薬物の危険性や有害性を説明するパンフレットを電子データで配布しているほか、希望する大学には紙媒体でも送付している。

昨年の大麻事犯の検挙者数は過去最多、約半数が青少年になるなど若者中心に大麻の乱用が拡大しています。

「大麻は安全」という誤った情報が流布していることが一つの原因だ。大麻には精神的な依存性が確認されている。乱用すると、大麻精神病と呼ばれる幻覚や妄想、興奮状態などの精神異常が起こり、社会に適應できなくなることもある。また、大麻は栽培が容易なため、流通しやすいことも原因の一つだ。



大麻成分入りのスナック菓子 = 横浜税関提供

「大麻は安全」という誤った情報が流布していることが一つの原因だ。大麻には精神的な依存性が確認されている。乱用すると、大麻精神病と呼ばれる幻覚や妄想、興奮状態などの精神異常が起こり、社会に適應できなくなることもある。また、大麻は栽培が容易なため、流通しやすいことも原因の一つだ。

2013年にはワルグアイ、昨年はカナダが大麻使用を合法化しました。カナダは15歳以上の4割が大麻を使用した経験がある。カナダ政府は、使用を同じく大麻を合法化した米

### 「大麻は安全」誤解が流布

大麻は安全という誤った情報が流布していることが一つの原因だ。大麻には精神的な依存性が確認されている。乱用すると、大麻精神病と呼ばれる幻覚や妄想、興奮状態などの精神異常が起こり、社会に適應できなくなることもある。また、大麻は栽培が容易なため、流通しやすいことも原因の一つだ。

#### 薬物の危険性

覚せい剤は幻覚や妄想、血圧の異常な上昇、急性心不全や強い疲労感、脱力感などを引き起こす。強い依存性があり、再犯者率(検挙者に占める再犯者の割合)が6割を超える。

大麻の利用は、精神障害や時間や空間に対する認識異常、学習・記憶障害を起す。生殖機能に悪影響を及ぼす恐れもある。

覚せい剤や大麻、麻薬、アヘンなどは個別の法律で規制されており、規制薬物と呼ばれる。



摘発された大麻入りの焼き菓子 = 東京税関提供

除ドラッグだ。規制薬物に勝るとも劣らない健康被害をもたらす恐れがある。個別の法律で規制されていないため、脱法ドラッグとも呼ばれていた。医薬品医療機器法(旧薬事法)の指定薬物として、輸入・販売や所持の禁止など規制が段階的に強化され、摘発例は減少している。

大麻は、覚せい剤などに比べ危険性や依存性が低いとされることもあるが、世界保健機関(WHO)は精神毒性、依存性がある有害なものと評価している。

大麻には含まれる化学物質類は「カンナビノイド」と総称される。このうち、有害性が高い成分がテトラヒドロカンナビノール(THC)で、脳の神経回路の成長を阻害することが確認されている。

指定薬物中中枢神経の興奮や抑制、幻覚的作用を持つ毒性が高く、人の身体に危害が発生する恐れがある薬物。医薬品医療機器法に基づき指定される。病気の治療や予防など以外での製造や販売、所持などは禁止されている。

筑波大学は毎年4月、安全な大学生活を送るために日常生活で気をつけることや、事件・事故への対応方法などをまとめた冊子「セーフティライフ」を発行し、新入生全員に配布している。そのうち、同冊子の片面1ページで「薬物には絶対に手を出さない」と題し、違法薬物の種類や危険性について紹介している。



パンフレット「薬物のない学生生活のために」 = 木村誠撮影

毎年12月、サークルの代表者向けに開催している「セーフティライフ講習会」では、飲酒や自転車マナーといったテーマを決め、それぞれに基づき講話を行っている。今年は薬物乱用防止をテーマとし、講師を招いて講話を開く予定だという。

また、全学生向けにウェブ掲示板で文部科学省が「セーフティライフ講習会」を掲載している。

学生生活課の担当者は「大学としては、さまざまな場面で学生に薬物に対する注意喚起をしたいと考えている」と話した。一方で担当者は、「学生の安全に関わる」講習会を開いても参加する学生が少ない。もっと多くの学生に参加してほしい」と話している。



# 薬物依存者支援施設「ダルク」代表に聞く

全国には民間の薬物依存者のリハビリ施設「ダルク」が約80カ所ある。今回は、共に薬物の乱用経験がある「館山ダルク」(千葉県館山市)の十枝晃太郎代表と「茨城ダルク」(茨城県結城市)の岩井喜代仁代表に薬物依存症からの回復方法や薬物依存症への入り口、違法薬物から身を守る方法などについて聞いた。



十枝代表

「茨城ダルク」は、1970年生まれ。19歳から32歳まで大麻や覚せい剤を乱用。幻聴や妄想など、末期的な禁断症状が現れ、32歳でダルクへ入所。薬物の販売相手を増やし、自依存症から回復したのち、弟をいじめたやうだ。蹴り飛ばした。また、音楽の勉強のために渡米した。30代以上の大人は家庭や仕事の代表を歴任。ハウス(千葉県袖ヶ浦市)の施設長や「館山ダルク」の代表を歴任。若者も入所している。若者には、一度薬物乱用状態から脱し、社会復帰したのほ簡単なことではない。岩井喜代仁(いわい・きよひろ)

## 館山ダルク

薬物依存のきっかけは、薬物に手を出さず、周囲から勧められ始める場合が多い。ほかに、精神的なS/Dなどの違法薬物を乱用している。薬物依存の症状は、一度薬物乱用で快楽を感じてしまつと、食事や友人の誘いもなくなる。知人の勧めはつきり拒否して、一度薬物乱用で快楽を感じてしまつと、食事や友人の誘いもなくなる。知人の勧めはつきり拒否して、一度薬物乱用で快楽を感じてしまつと、食事や友人の誘いもなくなる。

## 知人の勧めはつきり拒否して



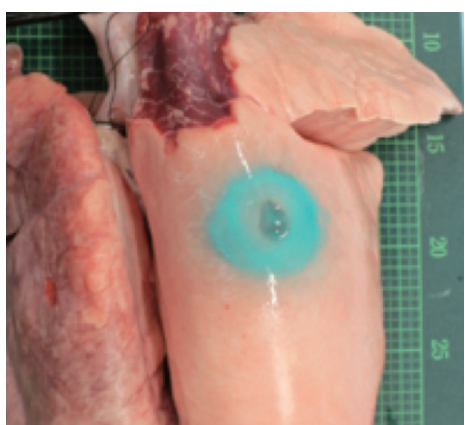
佐藤幸夫教授

明太子などでおなじみのスケトウダマから取り出した物質が、医療現場で活躍する日がやってきました。佐藤幸夫教授(医学部)らと物質・材料研究機構(NIMS)田口哲志グループリーダーらの研究チームは、スケトウダマ由来のゼラチンを使い、従来品より高性能の肺手術用接着剤を開発した。患者の術後管理が容易になり、合併

## 肺手術後の課題克服に期待

## タラ由来の医療用接着剤

プリン製剤で穴を塞ぐ処置がされている。しかし、ファイブリン製剤は接着強度が低く、伸縮もしにくいことが課題となっていた。このため、呼吸に伴う肺の拡張・収縮に耐え切れず、切除部分から空気が漏れ入院期



アタの肺に塗布されたスケトウダマ由来の医療用接着剤(中央) = 佐藤教授提供

## 茨城ダルク



岩井代表

若者の薬物依存の現状は、茨城ダルクの入所者の平均年齢は35歳だが、10代の「止め続ける」ことしかで、薬物依存から回復する方法は、薬物依存症を完全に治すことは不可能。薬物乱用を繰り返すのを繰り返しながら、薬物乱用を止め続ける。岩井喜代仁(いわい・きよひろ)

## 薬物依存からの回復簡単ではない



手紙

画家の植田です。個展で作品販売、制作依頼を受けたり絵画教室を開いています。受験生の頃は「絵が得意だから美術の教員になるのもいいな」と漠然と思っていた程度でした。そんな私が現役生の方々に言える事がある。それは、「真剣に選んだ進路に突き合えば、幸運としか思えない機会や人に巡り合うことがある」という事です。植田言志(うゑだ ことし)



植田さんの作品「機械化果物 パナナ」



画家 植田言志さん

「退職しました。なんとか転職は出来ましたが、転職先はブラック企業で経営者と衝突し、再び無職になりました。私が社会に出た頃は就職氷河期の最中でした。残っているのか」と真剣に考えました。ようやく、自分は絵を描く以外に他の人より上手いことができる事はないと気づき、再び絵を描き始めました。それが29歳の頃です。「関わる」と決めるまで

## 本気の決心は成功への道

門学群)



# 全日本学生優勝大会 東海大に敗れ優勝逃す

## 田嶋らが優秀選手に



一本背負投を仕掛ける田嶋 (6月23日、東海大戦で) = 北川瑠菜撮影

【日本武道館(東京都千代田区)で北川瑠菜比較文化学類1年、池田花於里(同3年)体重無差別の団体戦で大学日本一を争う全日本学生柔道優勝大会が6月22、23日に行われ、筑波大は準優勝となった。また、優秀選手に田嶋剛希(体専4年)と石川竜多(同4年)が選ばれた。

男子の部は7人が対戦し、より多く勝利を収めた方が勝ち進む。筑波大は2015年に初優勝を果たしたが、16年以降は史上最多優勝の東海大が王座に上っていた。筑波大は2回戦からシードで出場。3回戦まで順調に勝ち進み、準々決勝では明治大に3勝2分2敗で勝利し、準決勝へ駒を進めた。準決勝の国士舘大戦は6戦連続引き分けとなり緊張感が会場を包んだ。大将戦は、主将の田嶋が飯田健太郎(国士舘大)と対戦。90キ級の田嶋に対し、飯田は昨年のアジア大会100キ級王者。序盤から互いに積極的に攻める中、残り約2分半、田嶋が一瞬の隙をついて大外刈で一本を奪い、終止符を打った。一方、東海大は準決勝まで

で優勝。大会3度目となる同大と筑波大の決勝戦では、初戦で引き分けた後、2戦目で田嶋が清水拓実(東海大)と対戦した。田嶋は清水との約60キの体重差に苦戦するも、残り約30秒に大内刈で技ありを決め、相手を崩した後、縦四方固で技ありを奪い合わせ、一本で勝利を果した。だが、その後筑波大は2分2敗と後が無く、最後の大将戦へ。昨年の同大会で優秀選手に選ばれた関根聖隆(同2年)が後藤龍貴(東海大)と対戦するも、開始約15秒で隅返で技ありを奪われた。その後積極的に攻め続けるも技が決まらず、時間切れとなり相手の優勢勝ちに。1勝3分3敗で東海大に苦杯を喫した。小野卓志監督(体育系・助教)は「一本などで勝ち負けがはっきりして終わるのならば良かった

増澤 王者の貫禄  
【七国峠(東京都青梅市)などで田所涼二教育学類2年、写真も】関東学生選手権のロングディスタンス部門とスプリント部門が6月16日と30日に開催され、筑波大では増澤(比文4年)が女子両部門で優勝した。また、宮本和奏(地球3年)が女子スプリント部門で、小牧弘季(資源3年)が男子ロング部門で共に3位となった。オリエンテーリングは、(審判の判定などで)少し腑に落ちない部分もあった。選手は優勝を目標に取り組んできたので、しっかり決着をつけさせたかったと悔しさをにじませた。



ロング・スプリント両部門で優勝した増澤 (6月30日、駿河台大学で)

山野に設置されたポイント地図とコンパスを用いて順番通りに通過し、ゴールまでの速さを競うスポーツ。女子ロング部門のコースの七国峠は全長4.9キ、高低差は最大255.5メートルで、正確なコース取りが求められる。増澤は安定した走りを見せ、大きなミスもなく54分35秒でゴールし、王者の優勝を狙っていた。増澤は「2部門とも関東では優勝できていなかったのが、素直にうれしい。この勢いで今後の全国大会も優勝を狙いたい」と語った。



好機をうかがう星子(左)と松崎=剣道部提供

## 星子 悲願の学生日本一 筑波勢 同士の決勝制す

全日本学生選手権

【日本武道館(東京都千代田区)で国井俊介II社会学類2年、写真も】全関東学生選手権が6月9、16日に行われ、筑波大は団体戦で女子が3位入賞、男子がベスト16、個人戦で女子の佐藤碧紀(体専4年)が優勝した。星子と松崎が対戦。再び筑波大生同士の対決に。星子と松崎は互いに一歩も譲らない戦いを見せ、勝負は一本勝負の延長戦に持ち込まれた。熱戦の最中、星子が再び足を負傷し治療のために一時中断。15分の中断を経て試合再開後、松崎がメンを打とうとしたところを星子が返し、星子が優勝、松崎は準優勝となった。優勝した星子は「入学時から目標にしていた大会での優勝を達成でき、うれい」と話し「今回の優勝はまだ通過点。学生のうちに全日本選手権に出場し、優勝したい」と今後の抱負を語った。(西村大祐)

全関東学生選手権  
団体・個人共に上位進出  
【日本武道館(東京都千代田区)で国井俊介II社会学類2年、写真も】全関東学生選手権が6月9、16日に行われ、筑波大は団体戦で女子が3位入賞、男子がベスト16、個人戦で女子の佐藤碧紀(体専4年)が優勝した。星子と松崎が対戦。再び筑波大生同士の対決に。星子と松崎は互いに一歩も譲らない戦いを見せ、勝負は一本勝負の延長戦に持ち込まれた。熱戦の最中、星子が再び足を負傷し治療のために一時中断。15分の中断を経て試合再開後、松崎がメンを打とうとしたところを星子が返し、星子が優勝、松崎は準優勝となった。



遠近競射で狙いを定める佐藤 (6月16日、日本武道館で)

個人戦では、1射ごとに的中しなかった選手が脱落していく「射詰め」に佐藤が出場。最後まで残った鶴田有紗(学習院女子大)との一騎打ちに。佐藤は8射目で的確に、準優勝となった。試合後、佐藤は「最後まで攻められたので、気持ちよく試合を終ることができた」と話した。

法政大に大敗  
サッカー  
【武蔵野市立武蔵野陸上競技場(東京都武蔵野市)で飯田健介II社会学類3年、12面に関連写真】12大学が争う関東大学リーグ戦で激しい戦いが続いている。筑波大は6月1日に法政大と対戦。日本代表の上田は「目の前の混戦から上田にゴールを決められる。更に17分、簡単に2点を奪われる。28分、39分には上田を中心に攻め込まれ、続けざまに失点。0-4と大量リードを許して前半が終了した。後半、筑波大は生地慶充(体専3年)や窪田翔(同3年)ら攻撃力のある選手を投入し、チャンスを作ったが、生かすきれない展開が続いた。終盤、山原怜音(同2年)がゴール前約20メートルシュートを放つも相手キーパーに防がれた。試合はそのまま終了し、0-4で筑波大は敗れた。小井土正亮監督(体育系・助教)は「相手が一枚上手だった。後半の戦いが試合開始からできれば良かっただけに、残念な一戦になった」と話した。

### 広告掲載欄

広告のお申込み・お問い合わせは  
メール shinbun@un.tsukuba.ac.jp  
(筑波大学新聞編集部)





シュートを放つ井上(左)(6月9日、日体大戦で)

バスケット



# 男女共に3位入賞 関東大学新人戦

【日本体育大学世田谷キャンパス(東京都世田谷区)で加藤優花II国際総合学類2年、写真も)大学1・2年生が出演する関東大学新人戦が5月25日から6月16日にかけて開催された。男子は82・67で日本体育大に勝利、女子は91・73で松蔭大に勝利し、共に3位と

なった。また、男子は二上輝(体専2年)が優秀選手賞、女子は榊島はなる(同2年)がベスト8賞を受賞した。

■男子  
6月8日の準決勝、筑波大は専修大に68・73で惜敗し、9日の3位決定戦で日体大と対戦。

第1クォーター、筑波大は序盤から半澤凌太(同2年)らの3Pシュートが威力を発揮し、主導権を握った。第2クォーターも二上が連続得点を重ねるなど勢いは止まらない。その後も榊島(同1年)の速攻などで流れを渡さず、47・24とリードして前半終了。

第3クォーター序盤は点の取り合いの中、徐々に日体大に流れをつかまれ点差を縮められた。筑波大は二

上らのシュートで応戦したが、日体大の連続得点を許した。67・47で迎えた第4クォーターも日体大の猛攻を受けたが、井上孝一郎(同2年)の得点を機に、徐々に攻撃のリズムを取り戻し、82・67で勝利した。

吉田健司監督(体育系・准教授)は「1年生は大会に向け、責任感を持ってチームをまとめた。リーグ戦からは3・4年生と共に試合に望むが、今後とも下級生という気持ちを持ってプレーしてほしい」と話した。

■女子  
筑波大は6月15日の準決勝で東京医療保健大と対戦し70・73で敗れ、16日に3位決定戦で松蔭大と対戦した。

第1クォーター、筑波大

と決めていた。チームに点数で貢献できうれし」と語った。

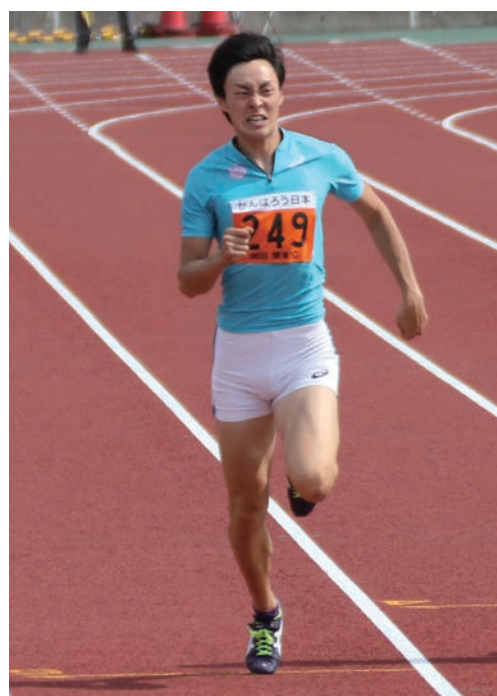
昨年の関東インカレ王者の齋藤は、途中まで他の選手にリードを許していたが、5投目に15・18の自己ベストを記録。逆転で優勝を決めた。齋藤は「後悔しないように投げようと思った。16投を目標にしていたが、今後もっと記録を伸ばしていきたい」と語った。

また、女子100m障害では小林歩未(同1年)が1位と0・01秒差の2位、小松真琴(同1年)は円盤投と砲丸投の2種目に入賞、女子ハンマー投の渡邊ももこ(同1年)は3位に入るなど女子は14種目に入賞。総合1位で2年連続優勝となった。

男子1部では、200m山下が20秒47を記録し、

2連覇を果たした。また、高橋聖(同4年)が400m障害で3位入賞するなど4年生の活躍も目立った。男子は12種目で入賞したが、昨年からの2つ順位を落として総合7位となった。

# 2連覇・自己ベスト更新…… 好記録相次ぐ 陸上競技部



男子200mで優勝した山下(5月26日、相模原ギオンスタジアム) = 森賀達太撮影

筑波大学陸上競技部が各大会で結果を残している。関東学生対校選手権(関東インカレ)では女子砲丸投の齋藤友里(体専4年)や200mの山下潤(同4年)らが優勝し、男女1部で26人が入賞。女子は2年連続総合優勝を決めた。また、日本選手権でも6人が入賞した。

陸上

関東インカレ

【相模原ギオンスタジアム(相模原市南区)で森賀達太II社会学類3年、大和

祐菜II障害科学類1年、関東大学1を決める関東インカレが5月23・26日に行われた。

女子1部では砲丸投の齋藤、女子走幅跳の高良彩花(同1年)、ハンマー投の関

口清乃(同4年)、やり投の桑添友花(同3年)が優勝した。

女子走幅跳の高良は6.62mを跳び、2位に18cmの差をつけ優勝。高良は「自分の中では絶対に優勝するつもりで」と語った。

また、女子100m障害では小林歩未(同1年)が1位と0・01秒差の2位、小松真琴(同1年)は円盤投と砲丸投の2種目に入賞、女子ハンマー投の渡邊ももこ(同1年)は3位に入るなど女子は14種目に入賞。総合1位で2年連続優勝となった。

男子1部では、200m山下が20秒47を記録し、

と決めていた。チームに点数で貢献できうれし」と語った。

昨年の関東インカレ王者の齋藤は、途中まで他の選手にリードを許していたが、5投目に15・18の自己ベストを記録。逆転で優勝を決めた。齋藤は「後悔しないように投げようと思った。16投を目標にしていたが、今後もっと記録を伸ばしていきたい」と語った。

また、女子100m障害では小林歩未(同1年)が1位と0・01秒差の2位、小松真琴(同1年)は円盤投と砲丸投の2種目に入賞、女子ハンマー投の渡邊ももこ(同1年)は3位に入るなど女子は14種目に入賞。総合1位で2年連続優勝となった。

男子1部では、200m山下が20秒47を記録し、

2連覇を果たした。また、高橋聖(同4年)が400m障害で3位入賞するなど4年生の活躍も目立った。男子は12種目で入賞したが、昨年からの2つ順位を落として総合7位となった。

日本選手権が6月27・30日に東平尾公園博多の森陸上競技場(福岡市博多区)で行われ、筑波大から6人が入賞した。

女子円盤投では辻川美乃利(体育2年)が51・42で2年ぶりの優勝。また、400m障害では伊藤明子(同2年)が学生歴代9位となる57秒09の自己ベストで初優勝を果たした。

昨年男子200mで3位だった山下潤(体育4年)

谷川監督(体育系・准教授)は「フィールド種目で取りこぼしなく点数が取れた。今後は日本学生対校選手権に向けて部員全員で練習をしっかり行いたい」と語った。

男子優勝・女子3位に

東日本インカレ

【日北北海道立総合体育センター(札幌市豊平区)などで開催され、筑波大は男子3・2で破り、決勝で青山学院大と対戦。筑波大は第1セットを25・23で落とすも、その後山口らの活躍もあり、3連続でセットを奪取、8年ぶり8度目の優勝を決めた。

女子は準決勝で順天堂大に2・3で敗れ、東北福祉大との3位決定戦へ。第1セットは25・20、第2セットは23・25と接戦となったが、筑波大が第3・4セットを共に25・22で制し、3位に輝いた。(飯田健介)

# スポーツの顔

兵庫県西宮市出身。陸上競技部顧問を務めている父の影響で、幼少期から競技が身近にあった。小学4年時に同市の陸上競技大会の走幅跳で優勝。「勝負に勝つ」ことが

4位、2年時には2位の好成績を収めた。全国トップレベルに位置していたが、優勝にあと二歩届かない日々が続いていた。迎えた3年時の全日本中学校選手権。6.60

たど振り返る。

園田学園高校入学後は全国高等学校総合体育大会(インターハイ)3連覇、更に高校生としては50年ぶりの日本選手権2連覇の偉業を成し遂げた。そして3年時のアジアジュニアでは高校記録タイの6.64の大ジャンプを見せ優勝を果たすなど、「勝ち続ける」日々が続いた。

だが、絶対王者の敗北は突然訪れる。高校最後の国民体育大会(国体)で、上位8人に残れずまさかの予選落ち。最初の2本はファールし、「思いつき踏み切っていたら決勝に行っていたはずの最終跳躍、負けることへの恐怖から守りに入り、記録を伸ばせなかった。」「インターハイの3連覇で燃え尽きてしまっに駆け上がった。当時を「今まで感じたことのない達成感で寝られなかったの喜びを知った。

の好記録で初優勝し、一気に陸上東のスターダムに駆け上がった。当時を「今まで感じたことのない達成感で寝られなかったの喜びを知った。

その後本格的に競技を始める、すぐに才能が開花。ジュニアオリンピックでは中学1年時に

# 「7メートル越えを達成したい」

の喜びを知った。

その後本格的に競技を始める、すぐに才能が開花。ジュニアオリンピックでは中学1年時に

の喜びを知った。

その後本格的に競技を始める、すぐに才能が開花。ジュニアオリンピックでは中学1年時に

の喜びを知った。

その後本格的に競技を始める、すぐに才能が開花。ジュニアオリンピックでは中学1年時に

の喜びを知った。

その後本格的に競技を始める、すぐに才能が開花。ジュニアオリンピックでは中学1年時に



走幅跳、インターハイ3連覇・高校記録保持者 高良彩花(体専1年)

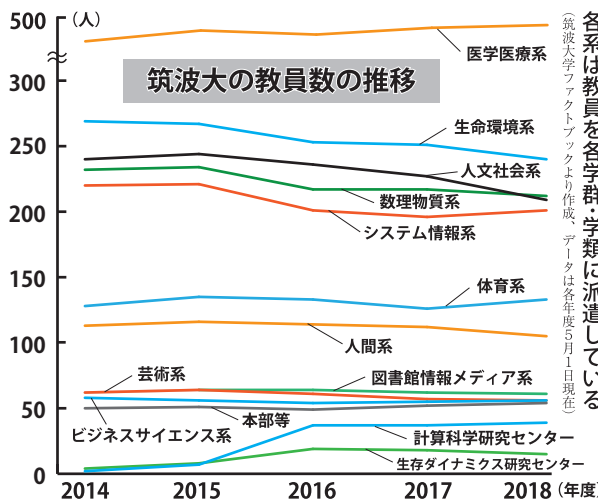






# 授業の選択肢 少なく

## 教員数減少を考慮① 人文学類と社会学類に取材



① 教員数減少を考慮

「授業数が少ない」「学びたい分野の教員が少ない」。筑波大学全体の教員数は2014年度の1892人から18年度には1853人に減少した。中でも人文学類は担当教員の減少により、今年4月に従来の4主専攻17コースが4主専攻11コースになった。社会学類でも教員数や開講される授業数が大きく減っている。今回は2学類の現状を追った。

(西村大祐、木村誠、國井俊介)

### 人文学類

人文・文化学群長で前人文学部長の大倉浩教授(人文学部)は「教員不足は深刻になっている」と語った。また、同学類の学生は「学びたい分野の教員がいない」と話した。

2014年度に63人いた人文学類の専任教員は定年退職などで18年度までに12人減少した。予算削減などで後任の確保が難しいからだ。21年度末までに、更に9人が定年退職する予定だが、補充の見込みは立っていないという。

教員数減少で今年4月、哲学コースと倫理学コースは哲学・倫理学コースに、東洋史コースと西洋史コースは「ユーラシア史学コース」にそれぞれ統合。また、一般言語学コース、中国語学コース、仏語学コース、独語学コース、露語学コースは「一般言語学コース」に一本化された。

だが、「教員の定年退職は今後も予定されており、コース統合は抜本的な解決にはならないと感じる」と話す同学類の学生もいる。人文学類長の三宅裕教授

### 社会学類

社会学類では教員が07年度から19年度にかけて42人から29人に減った。また、開講される授業数は、14年度の189から19年度には153に減少した。

社会学類長の平沢照雄教授(人文学部)は「法学における六法や、社会学における『ジェンダー社会学』など、各主専攻の基礎となる科目を担当する常勤の教員がいなくなっている」と話す。このため、非常勤講師による授業を開講する。

専門の教員がおらず、その専門に近い教員が授業を行っていることもある。平沢教授は「特に重要な科目は専門の常勤教員が教えることが望ましい」と話す。

社会学類では現在、2年生までに社会学、経済学、法学、政治学の4主専攻の基礎を学ぶ。3年生でその中から一つを選び、主専攻にする。

同学類の2年生は本紙の取材に「開講されている授業数が少なく、1、2年生の時から何を自分の主専攻を想定して単位を取得しておかないと、卒業時に必要な主専攻の単位を満たせる心配だ」と話した。

平沢教授は「教員が減少する中で、なんとか教育の質の維持に努めているが、一人一人の教員の負担は増えている。4主専攻を学ぶ制度は高校生からの評価も高く、存続させたいが、廃止を迫られるかもしれない」と語る。

## 運動部員に栄養ある献立を

### 「アスリート食事会」開催



盛り付ける学生ら(6月15日、めんとうステーションつくばで)

筑波大学の運動部に所属する学生に栄養バランスのとれた食事を提供する活動を行う「アスリート食事会」(つくば市天

久保)が開いた。硬式野球部などに所属する学生ら26人が参加し、食事やイベントを通して交流を深めた。

食事会は昨年末から定期的に開催され、12回目。通常は数百円の提供だが、今回は筑波大アスレチックパートナーなどが費用を負担し、参加者には無料で食事が振る舞われた。

この日の献立は▽白飯▽肉じゃが▽サラダ▽夏野菜

のむひし▽みそ汁▽スイカ▽ヨーグルトの6品。献立を考案した一人は管理栄養士の資格を持つ加藤有美さん(体育2年)に「よければ、試合のためのエネルギーを蓄積や疲労回復ができる内容だ」と。

食後は献立や栄養学に関するクイズ大会に続き、加藤さんが栄養摂取のポイントを講義した。

TAR代表の佐々木雄平さん(体育3年)は「今後、食事に悩むアスリート学生の助けを続けたい」と話した。(飯田健介写真も12面に関連写真)

## 筑波大生本を出版

### 休学は一つの選択肢

休学は一つの選択肢であることを知ってほしい。自身も休学経験がある大林格さん(国際4年)が8月、「休学を選んだ日本人」だから、僕は立ち止まった」を出版する。

休学中の大学生に加え、休学経験のある大学生や社会人合わせて19人が、夢や目標に向かって休学に踏み切り、海外などに飛び出した体験談を写真などとともに紹介している。出版費用は昨年10~11月にかけてクラウドファンディングで募

## 性的少数者への対応話し合う

### 米支援団体が講演

大学での性的少数者の学生などへの対応を話し合う研修会「LGBT等の学生サポートに関する日米対話」が6月17日、筑波大学東京キャンパス(東京都文京区)で開催された。筑波大ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセン

ター(DACセンター)主催で、教員の教育能力向上などを図る「全学FD研修会」の一環。全国の大学関係者ら約40人が参加した。アジア系米国人の性的少数者支援団体「全米アジア太平洋諸島系クイア連盟」のグレン・マグパンタイ事務局長が講演した。

クイアとは、英語で性的少数者のこと。マグパンタイ氏は米国では同性婚が認められるなど先進的な取り組みがある一方、「約30州では進学や就職の際に性的少数者への差別がまだ残っている」と訴えた。研修会後半のパネルディスカッションには、マグパンタイ氏に加え、クイア連

盟に加盟する性的少数者の親の会「PFLAG」のマイシャ・アイズミ氏、矢部文氏、性的少数者についての取材を続ける越智小夏・本紙記者(比文4年)、DACセンター長の五十嵐浩也教授(芸術系)が登場。大学における性的少数者への対応の在り方などについて意見交換した。

まず、マグパンタイ氏とアイズミ氏は、米国では多様性に関する授業が必修の大学があり、多様性を象徴するレインボーフラッグを研究室などに設置する例もあることを紹介。これに対し、五十嵐教授は「日米間には多様性に関する寛容度に違いがあるため、米の取り



tanbō

月曜日の放課後、プロジェクターとスクリーンが備えられた一室に会員らが続々と集まる。他愛もない話題で賑わう光景は、活動開始時刻になると一変。雰囲気引き締まり、スクリーンの前で話す学生に全員の視線が集中する。

桐政会は発表者が自身の研究を発表し、関連した議題について意見交換をする団体だ。会員は32人、学群1年生から博士後期課程の大学院生まで幅広い。

この日の議題は「これからの監視社会について意見交換」



監視社会について意見を交わす会員ら(6月24日、中央図書館で)

由を尊重する考え方や監視社会の関連性など、発表担当者は、民主主義論や福祉国家の研究を行っている代表の石飛哲平さん(社会学3年)だ。

発表が終わると、参加者全員での意見交換が始まる。石飛さんが監視社

会をどうまで受け入れるべきか、と問いを投げかける。台湾からの留学生の劉承徳さん(比文)など、監視社会のイメージを共有した後、監視社会の定義や用語を解

## 桐政会

専門の垣根超え意見交換

多様な意見がぶつかりあうエネルギーにあふれる空間が、学群や学年の垣を越えた自由な意見交換の場を生み出している。(後藤佳怡11社会学類2年 写真も)



# Who's Who?

## つくば市内で有機栽培に取り組む

### 高瀬 一綺 さん (資源4年)



グルマンの専用農場を運営する高瀬さん (6月6日、つくば市東平塚で)

「農業が変われば国も変わる」が持論だ。つくば市での農業活動やフィリピンへの留学を経て、その思うようになった。

筑波大学では、経済的な視点から農業を研究する農業経済学を専攻。将来は世界食糧計画(WFP)などの国際機関に勤務して、発展途上国や新興国の農業

を抱える問題の解決に貢献したいと考えている。原宿は、筑波学院大学(つくば市春日)で営業している「フラグマン」の出会いがある。昨年春のこと。グルマンの店長の内田十九二さんが、所有している農場を運営してくれる学

## 農場運営から生まれた夢 世界の農業を支えたい

生を探しているという話が入ってきた。以前からおいしい料理を食べることが好きで、食材にも興味があった。内田さんは料理店で使う野菜を自ら栽培しており、「料理は素材から」というこだわりを持っていた。そんな内田さんに共感し、また、自分が求める食材を作るいい機会だと考

え、農場の運営を引き受けた。現在は約3000平方メートルの畑を生物資源学類の学生3人を中心に運営し、有機栽培に取り組んでいる。今年の夏は、トマトやハーブなど約30種類の野菜を育てている。野菜はグルマンの料理に使用されるほか、店頭販売もしている。そんなグルマンに今年4月、転機が訪れた。入居していた筑波学院大の経営母体が変わり、経営方針などで折り合いがつかなくなると、7月を境に営業を終了することになったのだ。

「おいしい料理を求める人がおいしくなるようになった。」

集い、客同士との交流の場にもなっているグルマンをつくばに残したい。強い思いが湧いた。内田さんと協議し、グルマンはつくば市下横場に移動することに。だが、移転先は元々、宿泊施設として使われていたログハウスで、厨房設備や水回りの整備が必要だった。そこで5月、必要な資金を集めるため、クラウドファンディング「グルマンをつくばに残そうプロジェクト」を、代表として始めた。

返礼品は農場で収穫した有機野菜など。約3週間で目標額の150万円を達成し、移転準備を整えることができた。移転準備には筑波学院大の学生や教職員も加わり、8月の開店を目指している。こうした行動力は、海外でも存分に発揮されている。昨年7月、半年間のフィリピン大学との交換留学に参加し、経済学を学ぶ一方、有機栽培の

普及を図る現地の団体設立にもかかわった。この団体が畑やビニールハウス、講義を行う教室を備えた研修所を建設することになり、帰国までの間、設計から着工まで立ち会った。今でも、有機栽培方法などについて現地の人々に助言することがあり、交流は続いている。現在はつくば市内の農家に対して、土壌検査を踏まえた施肥の方法を提案する農業指導や、農産品の販売方法などを助言する経営支援を行っている。活動場所は多岐にわたり、学生ながらも農業の現場に影響を与えている。

「農業は国を支える基盤。自分も支える存在になりたい」とつくばでの農場運営で、そしてフィリピンへの留学では、これまで夢をかなえるため、彼の目は、既に新たな世界に向き始めている。(西村大祐 人文学類2年、写真も)

## CONNECT 展V



茗溪会賞を受賞した「Cantabile-1995」の解説をする大井さん (6月2日、スタジオ'Sで) =伊藤新平撮影

5面へ

## 関東大学リーグ



ペナルティエリア外からシュートを放つ窪田 (6月1日、法政大戦で) =飯田健介撮影

8面へ

## やどかり祭 ゆかコン



ゆかコンテストで優勝した生命環境学群 (6月1日、平砂テニスコートで) =大和祐葉撮影

10面へ

## アスリート食事会



提供された食事を味わう学生ら (6月15日、めんとのステーションつくばで) =飯田健介撮影

11面へ

学芸

スポーツ

学生生活

学生生活

### 編集後記

日本近現代史を専攻しています。本紙を書きつつ、厳しくも優しい指導教員の下で勉学に励む日々です。しかし、勉学と筑波大学新聞……両立はなかなか大変です。そんなある日、指導教員に「新聞供養」を知っているか?と問われました。家に帰って早速調べました。今号も本紙記者が「新聞供養」の記事を書きました。このままの情報を集めました。これまでの先輩記者も同じです。本紙はこれからは、新編集代表と共に読者の第一の新聞作りを続けたいです。期待下さい。(編集長・木村誠 人文学類3年)

### 編集・発行

筑波大学新聞編集委員会  
委員長 土井隆義 (人文社会学系・教授) 社会学  
副委員長 佐藤勲 (学生部) 委員長 菅谷純子 (生命環境系・教授) 果樹園芸学(竹中佳彦(人文社会学系・教授) 政治学)

次号は

10月1日(火)

発行予定です

発行所 筑波大学

印刷 ヒラマ写真製版

編集長 木村誠 (人文学類3年) 副編集長 飯田健介 (社会学類3年) 森賀遼太 (同3年) ほか編集部員20人